

守谷市役所の二酸化炭素排出量について

市役所から排出される二酸化炭素を削減するため、第一次計画として平成 13 年度～17 年度、第二次計画として平成 20 年度～24 年度に「守谷市役所地球温暖化防止実行計画」を策定し、不必要的電灯の消灯や燃料の節約など省エネ行動を実施しております。

現在は実行計画期間ではありませんが、第二次計画の目標値を参考として、引き続き二酸化炭素排出量の削減に努めております。

また、国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）で採択された地球温暖化対策の新たな枠組み「パリ協定」を受けて、政府は 2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2013 年度（平成 25 年度）比で 26% 削減とする目標を掲げています。この目標は主に家庭部門・事業部門について約 4 割の温室効果ガス削減を目標としています。守谷市でも啓発を行いながら、引き続き二酸化炭素排出量の削減に努めてまいります。

●平成 30 年度の二酸化炭素排出量について

平成 30 年度に市の事業全体から排出された二酸化炭素は、7,157.1 t-CO₂ です。平成 11 年度（基準年度）と比較すると約 42.7% の増加、平成 25 年度との比較では約 6.3% の増加（追加施設を含む）となっています。

～平成 11 年度比約 42.7% 増加～

基準年度：平成 11 年度 5,015.3 t-CO₂（修正値）

参考目標：4,734.4 t-CO₂（平成 11 年度比 5.6% 以上削減の維持）

～平成 25 年度比約 6.3% 増加～

基準年度：平成 25 年度 6,732.5 t-CO₂（修正値）

参考目標：4,982.1 t-CO₂（平成 25 年度比 26% 削減の維持）

CO₂ 排出量の増加要因

◆東京電力(株)

CO₂ 排出係数は、平成 20 年度から徐々に減少していましたが、東日本大震災による福島第一原発事故の影響により原子力発電が停止され、平成 22 年度以降は火力発電に代替されたことに伴い、電力会社における消費電力量の CO₂ 排出係数値が、震災前と比較して上昇しております。

しかし、平成 26 年度以降は、水力発電や再生可能エネルギーの増加、二酸化炭素の排出が少ない高効率の火力発電所の導入が進んだことが寄与し、CO₂ 排出係数が低下傾向にあります。

東京電力(株) CO₂ 排出係数(防犯灯・上下水道設備・守谷駅設備等)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
CO ₂ 排出係数(kg)	0.374	0.463	0.406	0.522	0.496	0.491	0.474	0.462	0.455
H22 年度比(倍)	—	1.24	1.09	1.40	1.33	1.31	1.27	1.24	1.22

◆(株)F-power (電気供給事業者)

一方、守谷市は行政費用削減のため、平成27年10月以降は、(株)F-powerから電力を購入しています。(株)F-powerでは、平成27年度にカーボンオフセット償却(※)を行ったため、平成28年度以降はCO2排出係数が大幅に増加しています。また、(株)F-powerの電力は比較的大規模な施設(市役所本庁舎・学校・給食センター・公民館・学びの里等)で使用していることもあります、昨年度よりもCO2排出量が上昇してしまう要因となりました。

※ カーボンオフセット償却とは、主に諸外国等へ温室効果ガス削減活動の投資等を行うことで、自社の排出量の埋め合わせ(軽減)を行うことです。

(株)F-Power CO2排出係数

年度	H27	H28	H29	H30
CO2排出係数(kg)	0.358	0.467	0.513	0.527
H27年度比(倍)	—	1.30	1.43	1.47

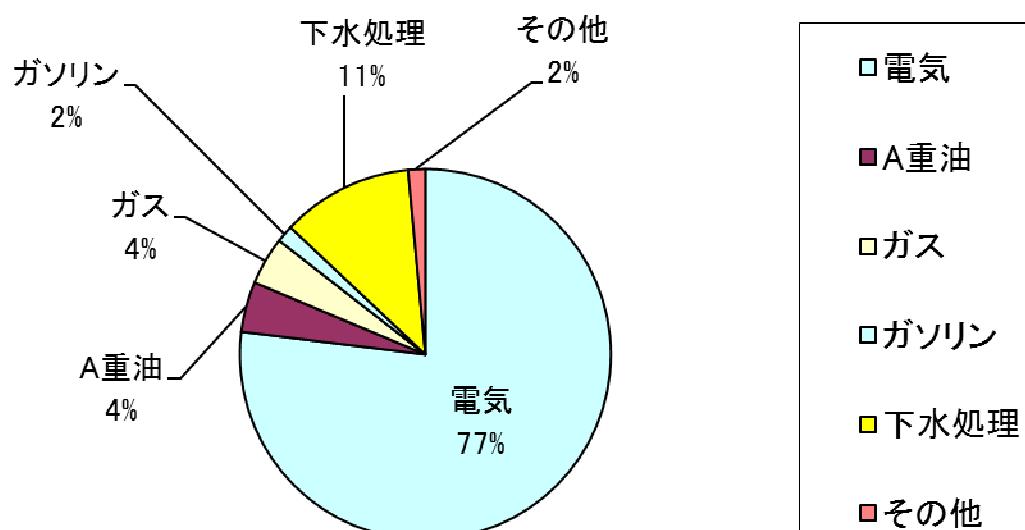
◆都市ガス

平成30年度は猛暑が続いたことで、主に小学校においてエアコン使用量が増加しました。また、学童クラブ利用児童数の増加により、小学校の空き教室を使用することとなったため、都市ガスを使用しているエアコン使用量が増加し、昨年度と比較してCO2排出量が上昇してしまう要因となりました。

使用燃料を削減できた主な分野

- ・灯油(学校) 平成29年度 3,333L →平成30年度 2,992L
- ・電気(学校) 平成29年度 2,089,246kWh →平成30年度 2,066,107kWh
- ・電気(全施設) 平成29年度 11,387,147kWh →平成30年度 11,328,979kWh

温暖化ガス総排出量に占める要因割合(平成30年度)



●守谷市役所の二酸化炭素排出量削減に向けて

守谷市役所のCO₂排出量は年々増加しており、「パリ協定」を受けて設定された「平成25年度比で26%削減」という目標を達成するためには様々な対策を検討する必要があります。そのため、現状を踏まえ、関係部署と連携して「守谷市役所地球温暖化防止実行計画」の第三次計画を策定し、職員の意識向上を図り、CO₂排出量の削減に取り組んでいきたいと考えています。

